



岐阜県立斐太高等学校

学校案内 2025





創立138年 めざすものは、 豊かな心と主体性

校訓

せつ き たく ま かっ こ ぶ ばつ
切 磋 琢 磨 確 乎 不 拔

教育目標

豊かな心と主体性を育み、幅広い知識と高い学力を身に付けることで、多様な社会に対応できる創造性豊かな人材を育成します。

スクール・ポリシー

- ◆**グラデュエーション・ポリシー(GP)『育てたい生徒像』**
 - 生涯にわたり探究心を持って自ら学び続け、問題解決や新しい価値の創造に取り組むことができる生徒
 - 多様性を尊重し他者と協働することができ、国際社会の持続的発展や平和に貢献することができる生徒
 - 地域社会の発展を考え、答えが見えない課題に対してもグローバルな視点からアプローチすることができる生徒
- ◆**カリキュラム・ポリシー(CP)『生徒をどう育てるか』**
 - 生徒一人一人の興味・関心が引き出され、深い学びと進路実現を可能にするバランスの取れたカリキュラムの編成とICTの活用や少人数によるきめ細かな指導
 - 地域や社会と連携した探究的な学習や体験活動等を通じて、教科横断的な学び、協働的な学びを推進するとともに柔軟な思考力を醸成
 - 生徒を主体として運営される様々な行事を通して、創造的企画運営力やリーダーシップ、チャレンジ精神を育成
- ◆**アドミッション・ポリシー(AP)『どんな生徒を待っているか』**
 - 学習意欲と知的好奇心を備え、向上心を持って学び続けることができる生徒
 - 自ら進んで人と関わる中で、他者との対話を大切に自他の個性を認めるなど、仲間と協力して物事に取り組める生徒
 - 広く社会に目を向けることができ、地域や世界の課題をジブンゴト(自らの課題)として捉えることができる生徒

設置課程
・学科

全日制の課程
普通科(前期・後期 二期制)

校章



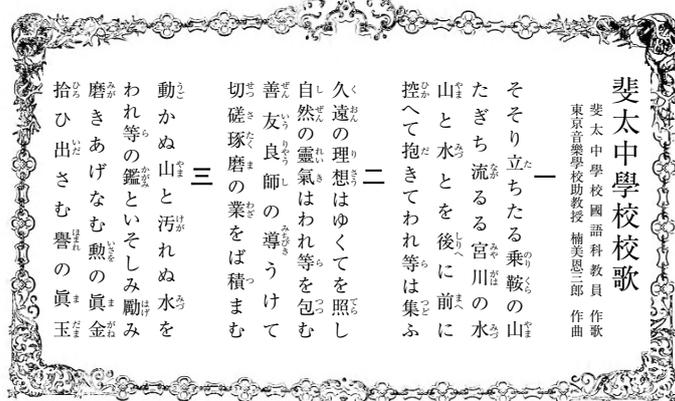
明治32年、当時斐太中学校の図画科の担当であった田島稻三氏の考案にかかる。『中』の字を基調として「蜻蛉島」(あきつしま)に雄飛せんとする意図を込めたという。大町桂月・幸田露伴らから高く評価されたと伝えられる。

校歌

県内で最も歴史、由緒あるもので、明治41年の元旦の拝賀式から歌われ始め、当時のまま百年以上長きに渡って歌い続けられている。

校名

この地方の呼び名を「日本書紀」では「飛騨」、それ以前の表記として「万葉集」では「斐太」、国造本紀・賦役令では「斐陀」とあり、「斐太」という校名は「万葉集」の「斐太」に拠るものである。



沿革

- 明治 19年 5月17日 飛騨三郡経営高山中学校開設
6月1日を創立記念日とする
- 31年 7月18日 城山より現在地に移転
- 32年 4月 1日 岐阜県斐太中学校と改称
蜻蛉の徽章制定
- 41年 1月 1日 校歌を制定
- 昭和 23年 2月29日 通信教育部併設
- 23年 4月 1日 学制改革により新制高等学校に昇格
- 23年 8月18日 岐阜県立斐太高等学校と称す
- 61年 6月 1日 創立100周年記念式典
- 平成 8年 6月 1日 創立110周年記念式典
- 9年10月 5日 通信制50周年記念式典
- 17年 4月 1日 通信制の課程飛騨高山高校へ移管
- 18年 6月 1日 創立120周年記念式典
- 28年 6月 1日 創立130周年記念式典

受け継がれる伝統

白線流し

毎年3月1日の正午頃、卒業証書授与式後に行なわれる行事です。学校の前を流れる大八賀川をはさんで、校舎側に在校生が、対岸には卒業生が並びます。在校生は「送別歌」とともに旅立つ先輩の門出を祝い、卒業生は「巴城ヶ丘別離の歌」を歌いながら思い出の詰まった校舎に別れを告げます。そのとき、卒業生は、友との永遠の友情を誓って制帽の白線とセーラー服のネクタイを1本に結び合わせ、高校3年間のなつかしい想いを込めて早春の川面に流します。「斐太高校ありがとう!!」…叫ぶ先輩の姿を見て、斐太高校への想いと誇りが後輩へと受け継がれていくのです。

この白線流しは、旧制中学以来、80年以上続けられてきた、斐太高校の伝統ある行事です。





学校行事

高校生活を彩る

斐太高校は行事も盛んです！

文化祭（蜻蛉祭）・体育祭・球技大会・白線流しなどの行事は、生徒会が中心となって運営されています。



入学式



対面式



球技大会



蜻蛉祭



東京大学見学



体育祭



遠足



修学旅行



修学旅行



白線流し



卒業式

4

入学式
対面式
課題・実力テスト
ウォームアップクラス
生徒総会

5

球技大会
身体測定
体力テスト
学部学科説明会

6

創立記念式典
前期中間考査
進学講演会

7

蜻蛉祭
三者懇談
オープンキャンパス

8

東京大学見学
課題・実力テスト

9

体育祭
前期期末考査

10

一日入学
遠足
修学旅行

11

後期中間考査

12

三者懇談

1

課題・実力テスト
大学入学共通テスト
Hida.T-Academia発表会

2

学年末考査

3

卒業式
白線流し
合格者と語る会
海外研修





部活動

熱中できることがあるから頑張れる

体育系・文化系ともにいろいろな活動が行われ、
全校生徒の90%以上が部活動に参加しています

体育系部活動 (11種)

- 陸上競技
- 硬式野球
- 卓球
- ソフトテニス
- ハンドボール
- サッカー
- バスケットボール
- バレーボール
- バドミントン
- 弓道
- 剣道

文化系部活動 (9種)

- 自然科学
- 放送
- 茶華道
- 書道
- 吹奏楽
- 軽音楽
- 美術
- 写真
- インターアクト



バスケットボール



陸上競技



美術



インターアクト



ハンドボール



バドミントン



写真



軽音楽



弓道



硬式野球



自然科学(科学)



自然科学(天文)



剣道



ソフトテニス



サッカー



茶華道(茶道)



茶華道(華道)



卓球



バレーボール



放送



書道



吹奏楽

その他、個人の活動も応援しています！ 最近の活動▶水泳、新体操、クライミング、柔道、スキー、将棋



カリキュラム

学ぶ意欲を高め合う

豊かな人格と高い学力を目指すカリキュラム 令和元年度から「進学型単位制」に移行しました

習熟度別、進路別授業で、進路実現に向けてきめ細かい授業をおこなっています。

令和6年度入学者用教育課程(参考)

文理共通 1年	文系2年	文系3年	理系2年	理系3年
0				
1	現代の国語	論理国語	論理国語	論理国語
2				
3	言語文化	古典探究	古典探究	古典探究
4				
5	歴史総合	地理総合	地理総合	古典探究
6				
7	公共	日本史探究 世界史探究	数学Ⅱ	日本史探究 世界史探究 地理探究
8				
9	数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学Ⅲ	数学Ⅲ
10				
11	数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学B	数学Ⅲ
12	数学A	倫理 政治経済 日本史探究 世界史探究 地理探究	数学C	数学Ⅲ
13				
14	化学基礎	数学B 芸術特講(A学)	物理基礎	数学C
15				
16	生物基礎	地学基礎	物理	数学C
17				
18	体育	体育	化学	物理
19				
20	保健体育	保健体育	体育	物理
21				
22	音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ	保健体育	保健体育	化学
23				
24	英語CⅠ	英語CⅡ	英語CⅡ	体育
25				
26				
27	論理・表現Ⅰ	論理・表現Ⅱ	論理・表現Ⅱ	英語CⅢ
28				
29	家庭基礎	情報Ⅰ	情報Ⅰ	英語CⅢ
30				
31	総合探究	総合探究	総合探究	論理・表現Ⅲ
32	LHR	LHR	LHR	LHR
33				

(学)…学校設定科目

※令和7年度入学生については、科目名や時間数は変更になることがあります。

授業以外の取り組み

進学対策

1年

- 月曜講座
- 夏季補習
- 模擬試験(全員参加 年3回)
- ハイレベル模試(希望者 年1回)
- インターンシップ(夏休み)
- 合格者と語る会

3年

- 早期トレーニング
- 模擬試験(マーク・記述・小論文・看護・公務員)
- 放課後補習(英・数・国・理・地歴公民)
- 東大京大特別講座
- 夏季補習
- 共通テスト対策(12月~共通テスト前日)

2年

- 月曜講座
- 夏季補習
- 模擬試験(全員参加 年4回)
- ハイレベル模試(希望者 年3回)
- 学部学科説明会
- 東京大学見学(夏休み)
- インターンシップ(夏休み)
- Hida.T-Academia発表会
- 合格者と語る会

- 小論文、志望理由書指導
- 面接指導
- 添削指導
- 学部学科説明会

学習支援

- 1年ウォームアップクラス(4月)
 - 国語・数学・英語:2時間または3時間連続
 - 家庭学習の体験指導
- 少人数・習熟度別・進路別授業
 - 1年 数学
 - 2年 文系クラス 数学、英語
 - 理系クラス 数学、物理、英語
 - 3年 文系クラス 古典、数学、英語
 - 理系クラス 数学、物理、英語

日課表

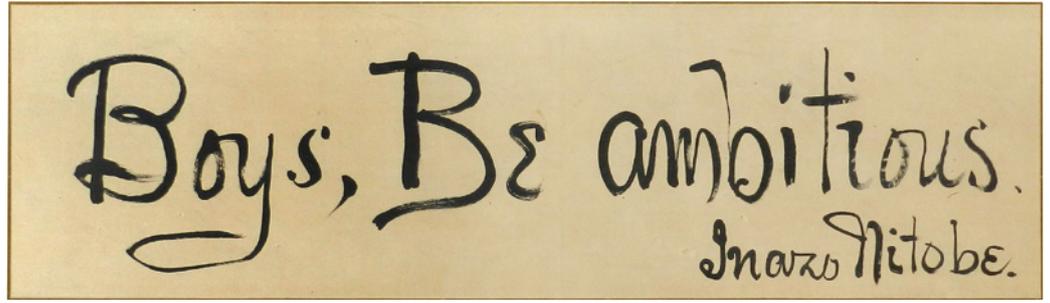
予 鈴	8:05	予 鈴	12:45
S H R	8:10~ 8:20	清 掃	12:50~13:00
第1限	8:25~ 9:15	第5限	13:05~13:55
第2限	9:25~10:15	第6限	14:05~14:55
第3限	10:25~11:15	第7限	15:05~15:55
第4限	11:25~12:15	S H R	15:55~16:05
昼 休	12:15~12:50		





進路

高い志を抱き、世界に羽ばたこう!



昭和36年8月、中33回卒の
荒垣秀雄氏により本校へ寄贈された
新渡戸稲造直筆の書

新渡戸稲造は国際連盟の事務次長を務めた農業経済学者、教育家、前の五千円札肖像の人物。
札幌農学校(現在の北海道大学)の二期生として入学。Boys, Be ambitious(少年よ、大志を抱け)
は、農学校に教頭として赴任したウィリアム・スミス・クラーク博士の言葉。



堅実な実績

国公立大学合格者

128名

(令和5年度卒業生)

国公立大学は毎年100名以上合格

東京大学(理科一類)	1名
大阪大学(経)	1名
名古屋大学(文、理、農、工、医)	7名
東北大学(工、農)	2名
一橋大学(経)	1名
筑波大学(総合選抜入試)	1名
金沢大学(融合、人間社会、理工、医薬保健)	11名
岐阜大学(教、工、応用生物、医)	14名

主な国公立大学

横浜国立大学	2名	名古屋工業大学	3名
東京外国語大学	1名	広島大学	2名
富山大学	17名	横浜市立大学	2名
山梨大学	3名	愛知県立大学	7名
信州大学	8名	愛知県立芸術大学	1名
福井大学	3名	名古屋市立大学	2名
静岡大学	3名	岐阜県立看護大学	2名
滋賀大学	2名		

私立大学合格者

566名

(令和5年度卒業生)

慶應義塾大学	4名
早稲田大学	2名
上智大学	5名
東京理科大学	5名
明治大学	17名
津田塾大学	2名
中央大学	10名
法政大学	10名
同志社大学	4名
立命館大学	37名
関西学院大学	13名
関西大学	6名
南山大学	21名
名城大学	65名
岐阜聖徳学園大学	29名

大学入学共通テスト出願者のうち、半数以上が国公立大学に合格

国公立大学 過去の実績

東京大学	神戸大学	新潟大学	岐阜大学
京都大学	国際教養大学	富山大学	三重大学
大阪大学	東京藝術大学	福井大学	滋賀大学
名古屋大学	筑波大学	山梨大学	広島大学
北海道大学	千葉大学	信州大学	愛知県教育大学
東北大学	お茶の水女子大学	静岡大学	東京都立大学
九州大学	東京外国語大学	浜松医科大学	愛知県立大学
東京工業大学	東京学芸大学	金沢大学	名古屋市立大学
一橋大学	横浜国立大学	名古屋工業大学	大阪公立大学…などに合格

私立大学 過去の実績

慶應義塾大学	法政大学	愛知大学
早稲田大学	明治大学	中京大学
青山学院大学	立教大学	藤田医科大学
学習院大学	同志社大学	岐阜聖徳学園大
国際基督教大学	立命館大学	…などに合格
上智大学	関西大学	
中央大学	京都薬科大学	
津田塾大学	南山大学	
東京理科大学	名城大学	



実践

伝統と革新 進み続ける教育実践!

グローバル探究フラッグシップ・ハイスクール事業



探究学習から生まれた
生徒企画のツアー
GO! GO! プロジェクト

● 予測困難な時代に学び続け、
グローバルな視点で地域・国・世界で
活躍できる人材育成

● 地域と協働した教育実践

● 斐太高校でしかできない教育実践に
取り組みます。

教科横断的な考え方やグローバルな視点をもつための 2本の柱

斐太高校探究プロジェクト

1年次

「探究スキルの習得」

共通のテーマをもとに探究学習の基礎を学びます。

- 笑顔いっぱいプロジェクト
- 地域の歴史に関する探究
- 数学、理科、情報の分野に関する探究
- 人材育成プログラム など

将来求められる スキルの育成

問題発見力
的確な予測 革新性
グローバルリーダー

2年次

「グループまたは個人での探究」

それぞれの興味・関心に合わせて探究する分野、テーマを選択し、探究学習に取り組みます。

- 飛騨地域の活性化に関する探究
- 数学や理科の分野に関する探究
- 自由な発想で設定したテーマに基づく探究

心のエンジンの 駆動

主体的な取り組み
興味・関心への気づき
様々な社会資源への接触



第5回飛騨高山学会での発表



人材育成プログラム



Hida.T-Academia

コミュニケーション能力育成プログラム

地域と世界を繋ぐ グローバル教育

- クラス対抗ディベート大会 (2月)
(R5論題: ペットの売買を禁止すべきである)
- オーストラリアへの海外研修 (3月)



クラス対抗ディベート大会



オーストラリア海外研修

主な年間計画

- 7月 斐太高校探究プロジェクト相談会
- 10月 人材育成プログラム
- 12月 斐太高校探究プロジェクト中間発表会
- 1月 FRH斐太高校探究プロジェクト発表会
(Hida.T-Academia) (高山市民文化会館)



探究学習報告書

自分の夢をかなえた先輩たちからのメッセージ

令和5年度卒業生
三重大学
人文学部
文化学科 合格



辻 沙那
(東山中学校出身)

私は中学生までなんとなく生きてきたと思います。なんとなく上手いき、本気で物事に取り組む経験がありませんでした。しかし斐太高校に入って、初めて勉強に本気になれたと思います。最初は勉強の量で周りについて行けませんでした。勉強の習慣がついていなかったからです。何か変えなければと考え、とりあえず毎日図書館に行き、勉強をする環境に身を置いたり、友達と勉強時間を報告したりして、量に慣れるようになりました。しかし、勉強は簡単に効果が出るものではありません。勉強しているはずなのに模試の成績がだんだん落ちてきた時は本当に辛かったです。初めて、なんとなくでは通用しない経験でした。もうやめたいと思った時、乗り越えることができたのは、斐太高校の仲間が存在がありました。仲間と一緒に本気で勉強し、辛いのは自分だけではないことに凄く心が救

われました。おかげで、大学合格までやりきれたと思います。

私が皆さんにアドバイスしたいことは2つあります。1つ目は目標を高く持つことです。最初から無理と決めつけずに高い目標をもってください。2つ目は早いうちから受験を意識することです。特に私は2年生の冬、共通テストまで1年を切り始めた時、受験が一気に他人事ではなくなりました。そして、3年生になると共通テストまでの日数は本当にあっという間に過ぎていき、1、2年生の時にもっと勉強をしていればなと思ったからです。

私は斐太高校で本当に充実した日々を送ることができました。勉強以外にも楽しいイベントが沢山あり、ほかの高校と比べてもとても充実していると思います。そして何より、自分自身を成長させてくれる仲間もいます。皆さんも実りある高校生活を送ってください。

令和5年度卒業生
京都教育大学
教育学部
合格



門 春佳
(松倉中学校出身)

私の斐太高校での高校生活はとても充実したのになりました。たくさんの仲間や先生方に支えられ、多岐にわたる活動に挑戦できた3年間だったと感じています。入学したての頃は、予習復習といった授業の準備や小テストの勉強など慣れない生活に苦戦しました。部活動が始まって次第に忙しくなり、どのように勉強と両立しようかと悩んだことを覚えています。そんなとき、私と同じように悩んでいたクラスメイトと一緒に勉強をしないかと誘ってくれました。自分の勉強法を確立できたと同時に、仲間の大切さを強く感じた出来事です。先生方もとても一生懸命に関わってくださいるので、安心して学ぶことができました。

斐太高校は勉強が大変だと言われることが多いですが、私は1年生のうちから将来の進路を考えて学べる環境が整っているということだと考えています。高校生のうちに勉強する習慣がつけられ

たことは卒業後の生活でも生きているなど感じました。勉強だけではありません。斐太高校では部活動や行事、課外活動も活発に行われています。私は1年生のときから軽音楽部に所属し、2年生の夏からは新たに放送部にも所属しました。また1年半にわたり執行部としても活動し、先輩や後輩との繋がりも多くなって新しい仲間とともにたくさんの行事や大会を楽しむことができました。

振り返ってみると、進学を目指して勉強しながら他の活動にもアクティブに参加できて、楽しかったことも辛かったこともたくさん経験できた高校生活だったと思います。斐太高校での生活において勉強はかなり優先順位が高いです。しかし、自分次第で他の活動でも活躍できる機会がたくさんあります。みなさんも、斐太高校で自分のやりたいことにたくさん挑戦してみてください。

令和5年度卒業生
名古屋工業大学
工学部
合格



二村 柊
(竹原中学校出身)

斐太高校では、行事や勉強など楽しいこと辛いこといろいろありましたが、本当に充実した3年間を過ごすことができました。

斐太高校にはいろいろな目的があって進学すると思います。私は大学への進学を目的に斐太高校に決めました。私は竹原中学校出身ということもあり、毎日電車で学校まで1時間半かけて通っていました。そのため、朝早くに起きなければならなかったり、部活がある日には帰る時間が遅くなってしまったり周りの人と比べて大変な毎日だったと思います。この3年間頑張ってきたのは一緒に頑張ってきた仲間がいたからだだと思います。受験期は学力が伸びなくて悩んだりすることがありましたが同じように頑張る仲間が周りにいて分らないところは教えあったり、励ましあったりして、ここまでやってこられました。また、親の協力があつたことも大きかったです。共通テスト

前は終電まで高山で勉強していました。その後、毎日車で家まで送り迎えてくれた親がいてくれたから安心して勉強ができました。

しかし、斐太高校は辛いことばかりではなく、行事も充実しています。球技大会、蜻蛉祭、体育祭があり、どの行事も企画から運営まで生徒主体で行うことができ、仲間と協力して自由に取り組めるので斐太高校でしかできない一生の思い出になると思います。私自身斐太高校での3年間は思い出に残るものになったと思います。それは同じ目標に向かって切磋琢磨し合える仲間や、親身になって相談に乗ってくださる先生がいてどんなことにも一生懸命に取り組めたからだだと思います。だからみなさんには勉強はもちろん、部活などいろいろなことに全力で取り組んでみてください。皆さんが充実した高校生活を送れることを願っています。

令和5年度卒業生
和歌山大学
観光学部
合格



東田 奈七美
(宮中学校出身)

高校では中学より勉強が難しくなり、入学したては慣れない生活と復習に予習、そして毎日の小テストで疲れ、いい加減な勉強になってしまったり、小テストは直前に頭に入れる勉強になってしまったりします。それでも毎日はなんとかこなしていくけど、本格的に受験期に入るとなんとなくこななくなってきました。今まで積み重ねて、基礎が出来ている人は点数が安定してくるけど、やっていないと点数が定まらないし、何から手をつければいいのか分からない状態になります。これは私の悪い例ですが、皆さんにはこのように無駄な時間を過ごし悪い結果に繋げて欲しくありません。

そんな私にアドバイス出来るのが2つあります。1つ目は共通テスト前に私立受験をしておくことです。もちろん気は抜けません合格すれば共通テストに向けて少し気が楽になるし、不合格だったとしても雰囲気や学べ、その後の受験に役立つと思います。2つ目

は受験方式を詳しく調べることです。調べてみると大学によって沢山の受験方式があります。同じ大学でも一般入試では合格が厳しいが、ほかの受験方式なら合格の可能性もあることもあります。同じ大学で複数回受験することでチャンスも膨らみます。

行きたい大学が1つ明確にあるのなら、自分の合格に1番近い受験方式を早いうちに見つけ、科目を絞った勉強をした方がいいと思います。不合格の場合に進路の幅が狭まるリスクはあるけど、2番目3番目に行きたい大学のためにリスクを犯さないよりも自分が行きたい1番目の大学のために出来ることを全てやった方が後悔が残らないと思います。

高校生活、大変なことも沢山あると思うけど、勉強だけでなく部活や行事にも全力で取り組んで最高の思い出を作ってください。

令和5年度卒業生
名古屋大学
医学部 保健学科
合格



橋本 夏海
(日枝中学校出身)

これから高校生になる皆さんに伝えたいことは、ありふれた言葉ですが、色々なことに挑んでほしいということです。私はこの3年間で確実に生き方が変わったと思っています。斐太高校には生徒の自主性を大切にする校風があるため、部活や行事、普段の勉強においても自分から何かを始めようという熱い気持ちがあれば色々なことができます。そして、斐太高校にはその環境が整っています。

部活に関しては、私は入学前から軽音楽部に入りたいと思っていました。この地域では斐太高校にしかない部でした。斐太高校は文科系部活も豊富で、きっかけがなければ一生触れないかもしれない茶道や天文学に関する部もあります。自分が全く知らなかった分野に挑戦できるチャンスはなかなかありません。ぜひこのチャンスを活かしてほしいです。

また、学校行事にも生徒主体のものが多くところが斐太高校の

特色だと思います。特に文化祭と体育祭では、実行委員の生徒が準備から本番を率い、MCや放送、企画なども生徒が行います。団や委員会やクラスでも役を任せられます。こういった経験からは自分が行事の成功の一端を担ったという自信がつけられ確実に自分を成長させられます。ぜひ役に挑戦してみてください。

そして、学校ではもちろん勉強が主です。私は入学したときには大学に行こうという気持ちはほとんどありませんでしたが、周りに意識高く頑張っている仲間がたくさんいる中で少しずつ考えが変わりました。そして志望した大学に合格でき、限界まで勉強を頑張るといふ貴重な経験も得られました。斐太高校に入っていなければ今の私はあり得ないと思います。高校生活にはチャンスがたくさん転がっています。皆さんの高校生活が自分を成長させる充実したものになることを願っています！

令和5年度卒業生
東京外国語大学
国際社会学部
アフリカ学科 合格



長瀬 綾花
(中山中学校出身)

私は、斐太高校の魅力は、様々な個性を持った仲間がいて、行事や勉強に一生懸命に取り組めることだと思います。斐太高校はとても勉強が大変なイメージがあるかもしれませんが、確かに毎日小テストがあるし、数学では、チャートという問題集のテストがあったりしました。しかし、この小テストやチャートテストを定期テストの時にサボらず、コツコツ勉強していると、3年生になった時にとても助けられます。英語の長文は、単語がわからないと意味がわからないし、古文も単語が分かるだけで全然解きやすさが違います。これを受験生になってからやろうと思っても、時間がありません。1、2年生の時は受験がまだ遠く、やる気も実感も湧かないと思いますが、追試をやりたくないという理由でもなんでも、コツコツ勉強することは大切だと思います。

では、斐太高校は、勉強ばかりしているのかというと、そうではありません。楽しい行事がたくさんあります。私は、斐太高校のいいところは、みんなが様々な行事を全力で楽しんでいることだと思います。勉強する時はする、楽しむ時は全力で楽しむ。このメリハリがしっかりできています。また、いろんな個性を持った仲間がいます。私が入学して、中学校と違うと思ったところは、中学校と比べて、よりみんなが輝ける場所だということです。体育祭では競技に出ない人も黒団として活躍したり、蜻蛉祭では、それぞれが自分の得意なところで活躍したりして、クラスの作品を作り上げました。日常生活では放課後に友達と、遊びに行ったり、勉強したり、先生に質問に行ったり、本当に楽しく、充実した三年間でした。

令和5年度卒業生
名古屋大学
工学部
合格



畑中 健吾
(国府中学校出身)

私は硬式野球部を引退した後、体育祭の応援団をやり、本格的な受験勉強を3年生の9月頃から始めました。また、3年生の10月初めの頃の名大模試では、最低判定のD判定を取っていました。そんな状況から逆転合格するために気を付けた点と後悔している点をいくつか紹介しようと思います。

「気を付けた点」1つ目はインプットからのアウトプットの流れを意識することです。これは地理や物理、化学で特に意識しました。参考書は大体インプット（講義）系とアウトプット（問題集）系に分かれます。私はインプット系の参考書を一周したら、すぐにアウトプット系に移るという流れでやっていました。

2つ目は今の自分の弱点を把握することです。これは特に共通テスト対策の時に痛感しました。私は自分の弱点を知るために、駿台予備校が出版している共通テスト形式の問題集を週末に1回分ずつやって、自分の弱点科目を調べて、次の週にその科目を重点的にやるという流れでやっていました。

3つ目は難しめの参考書にビビらないことです。いつまでも自分が楽々できるレベルの参考書を使っても、成長はあまりありません。いちばん成長する瞬間は、少し難しい問題を、時間をかけて解いた時や、解けなかった時に解説を読んで理解出来た時です。

「後悔している点」それは基礎が疎かだったということです。私は3年生の9月頃までほとんど勉強してこなかったで、全ての教科の基礎がボロボロでした。そこから基礎を急いで固めてなんとか合格はできましたが、絶対にもっと早く基礎を固めていれば、もう少し成績が上がったと思います。1年生、2年生の頃から青チャートと英単語帳だけでも完璧にさせておいた方がいいです。

「最後に」色々書いてきましたが、受験勉強でいちばん大切なことは自信を持ち続けることです。自分の志望校を共通テスト前に、成績を理由に落とすのは意味がないです。自信を持ち続けたら志望校に必ず受かるとは言えませんが、志望校に受かった人は全員自信を持ち続けた人です。それでは皆さん、頑張ってください。

令和5年度卒業生
岐阜大学
医学部 医学科
合格



小川 陽
(萩原南中学校出身)

私は斐太高校に入学して本当に良かったと思います。斐太高校で過ごした3年間は、まさに私の人生における大きな分岐点になりました。私は中学生の時点で特にこれといった夢や目標はありませんでした。私が高校生活に求めたことは、第一に自分の将来の夢を見つけること、第二に自分の夢を見つけたときに、どこでも合格できるだけの学力をつけておくこと、この二つでした。そのため、飛騨地域有数の進学校でありながら、「自由」の校風で勉強以外にも様々な経験ができる点に魅力を感じ、斐太高校を選びました。

実際、斐太高校入学後は夏休みや自宅学習期間などを利用して教育や保育、美容、福祉、医療など様々な分野のイベントに参加することで、「医学を学びたい」という夢を見つけることができました。学習面においても、先生方からの支援が手厚く、同じように高い目標をもって奮闘する仲間たちがいたため私も惜しまず努力する

ことができました。最終的に斐太高校で見つけた「医学部合格」という目標を達成できてとても嬉しく思います。

私は斐太高校での生活を通して、尊敬する恩師や仲間がたくさん出会うことができました。斐太高校には、自分で行動すれば全力で応えてくれる人が必ずいます。部活動にも全力で打ち込むことができ、全国大会に出場することもできました。たくさんのことが経験できる斐太高校だからこそその挫折や苦しさもありましたが、周りのサポートも受けながら一つ一つ乗り越えることができ、人間的にも大きく成長できたと思います。

私はこれからも斐太高校で出会った大切な仲間たちとともに、自分の夢を実現するために歩み続けます。皆さんも有意義な高校生活を送れるよう頑張ってください。

令和5年度卒業生
東北大学
農学部
合格



中谷 恭子
(古川中学校出身)

私は大学受験に向けて勉強を頑張りながら、行事や部活動にも取り組んで充実した高校生活を送りたいとの思いから斐太高校に進学しました。斐太高校は比較的自由な学校です。しかし、自由な環境を上手く利用できるかは自分次第です。斐太高校での毎日を自身の成長につなげるには、三年間の目標を持つことが大事だと思います。私は、難関大学に合格するという目標を持ち、一年生からコツコツと勉強しました。目標があったおかげで、常に自分に必要なことを考えて生活ができたので、充実した三年間だったと自信を持って言えます。皆さんも目標を持つことで実りある三年間を送ってください。

大学受験を見据えて勉強するうえで、斐太高校の環境はとても良かったです。先生方は、添削や質問、面接指導等、熱心に対応してくださいます。そして斐太高校の一番の強みは仲間の存在だと思

います。多くの生徒が受験をするので、周りに刺激されて高いレベルを目指すことができましたし、勉強を教えあって理解を深められました。切磋琢磨できる環境が自分を成長させてくれました。

勉強以外のことも楽しみました。三年間華道部に所属し、週に一回花を生けていました。他学年の仲間ができたし勉強の息抜きになり良かったです。華道部は活動頻度がちょうどよく、負担にはなりません。また、斐太高校は行事も生徒主体で行われ、皆が積極的に参加します。仲間とのかけがえのない思い出がたくさんできました。

迷うことはたくさんあるかと思いますが、困ったときは周りの人に頼ることも大切です。皆さんの三年間が充実したものになることを願っています。

令和6年
前期生徒会長



近藤 響
(古川中学校出身)

皆さんはなんのために高校へ進学しますか？大学・専門学校へ進学するため、将来就きたい職に就くためなど様々な理由があると思います。私は、一生に一度しかない高校生活を全力で楽しむために斐太高校に進学しました。そして私が入学してから二年と少しの時を経た今、斐太高校を選んでよかったと思っています。

私の考える斐太高校の良いところは、やはり学習環境の充実です。斐太高校は毎年、東京大学や京都大学の合格をはじめとする、高い進学実績があります。斐太高校にいる先生は親しみやすい先生ばかりなので、授業後、放課後に先生に質問をしに行く人も多く見られます。また、部活動においても運動系11、文科系9の計20の部活動が日々活動しており、毎年優秀な成績を残しています。昨年度は運動系部活動の全国大会や、文科系部活動の全国総合文化祭に出場した生徒もいました。斐太高校はまさに文武両道の学校とい

えるでしょう。もちろん、斐太高校の良いところはそれだけではありません。斐太高校では蜻蛉祭（文化祭）をはじめとする多くの行事があります。想像してみてください。毎日勉強ばかりで高校生活を全力で楽しめるでしょうか？斐太高校には蜻蛉祭（文化祭）以外に体育祭、1、3年の遠足に、2年の修学旅行などたくさんの行事があり、そのどれも生徒が主体となって運営されています。私が蜻蛉祭（文化祭）で一番印象に残っているのは、3年のクラスごとのステージ発表です。クラスの全員が一つとなつて一つの作品を作り上げる光景はとても感動するものでした。

斐太高校は大学・専門学校への進学を目指す人、就職を目指す人のほかに、全力で高校生活を楽しまたい人におすすめの学校だと私は思っています。一生に一度しかない、一生残る、皆さんの高校生活が素晴らしいものになることを心から願っています。

「懐かしい三星霜 思い出さそう 鐘は鳴る」



校舎の脇の一角に立ち、年一度、白線流しの開始の合図にのみ鳴らされる「平和の鐘塔」。これは、すべて生徒の手で企画や資金募集をおこなって完成した生徒会活動の金字塔なのです。

「平和の鐘塔」建設の声は、昭和25年の朝鮮戦争勃発に対し、世界戦争への不気味な前兆と受け止めた生徒たちの中から、平和問題を真剣に考えていく象徴として作ろうとする声があがってきました。その後、全校生徒の理解を得るために、議会や生徒集会、各ホームルームでくり返し話し合いをおこなって、生徒会の一大事業として建設することが決まりました。それ以後、生徒会による積極的な募金活動がおこなわれ、昭和27年12月8日、3年越しの悲願が実って「平和の鐘塔」が完成しました。

この鐘の音とともに、平和な世界がいつまでも続くように願った先輩たちの精神を心に刻み、斐太高生は卒業していきます。



岐阜県立斐太高等学校

〒506-0807 岐阜県高山市三福寺町736番地 Tel.0577-32-0075 Fax.0577-32-9006

URL <https://school.gifu-net.ed.jp/hida-hs/> E-mail c27337@gifu-net.ed.jp